

編集後記

本論文集は、序でも触れられているように、1998年の名古屋大学文学部創設50周年にあたって開催された、哲学研究室、学術分科集会—「哲学の根本問題」若手研究者研究報告会—の発表(9月2日(水)、11月18日(水)、12月16日(水))を核とし、その上に黒積先生の直接の指導を受けたOB、博士後期課程学生、さらには現教官の論文を加えて編集した論文集である。研究報告会と本論文集発行の両方について言えることであるが、それらを推し進める原動力として働いた要因の一つとして、哲学を囲む昨今の厳しい状況の中にあって地道に哲学の道を進む若き研究者たちが、飛躍する何らかのきっかけになれば、との思いがある。名古屋大学哲学会委員会は、この意図をよく御理解下さり、本論文集を『名古屋大学哲学論集』特別号として発行することを快く御了承下さった。また本論文集の費用はすべて、この企画に賛同して下さった方々のカンパによるものである。このように物心両面にわたる御協力を豊かに賜ったことは大きな喜びであり、支えて下さった方々に心から御礼申し上げたい。未来を担う哲学研究者たちの一層の活躍を願う心情は、だれよりも、これまで長きにわたり情熱をもって教育にあたってこられた黒積先生の願いである。名古屋大学哲学会委員会からは、本特別号への執筆により将来の『論集』執筆が制限されるものではないとの御了解もいただいており、今回の論文集を一つの足場として、先生の教えを受けた若き研究者たちが、『論集』あるいは他の雑誌、あるいは他の書籍に、さらに優れた研究成果を発表していくことを願い、また強く確信する次第である。

(金山弥平)

名古屋大学哲学論集 特別号 2000年3月31日
発行者 名古屋大学哲学会
464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学哲学研究室内
印刷 名古屋大学消費生活協同組合 印刷部